14 谷和彦（自由民主党）

災害時に備えた地域の体制づくり～要支援者について～

問 地域における支援体制づくりについて問う。

答 マニュアル化した地域での取り組み事例を活用し、要支援者支援の体制づくりなど実情にあった対応が必要と考えます。

いじめ・虐待・自殺撲滅に向けた取り組み～メンタルヘルスについて～

問 市は地域との連携をどう考えているのか。

答 地域の役割は重要と考え、多様な手段を用いて子どもを地域で支える働きかけを検討します。

日野市の文化遺産を後世に～旧蚕糸試験場日野桑園～

問 文化財登録に向けた進捗状況について問う。

答 改修を行い、登録に向けて順調に推移しています。

15 大高哲史（日本共産党）

むこうじま保育園建設にかかわる市の資料提出における責任とその対応について問う

問 工事ミスを究明するため、市に資料請求を行ったが、回答は事実と相違していた。見解を問う。

答 事業者からの回答を提出しましたが、内容は民間同士の契約であり、市は関与していません。

封筒黒塗り問題でひろがった市への疑念や不信を取り除き、憲法順守・法令順守の徹底を！

問 この問題は、憲法尊重擁護義務が焦点である。徹底的な調査によって反省と改善をすることが出来ると考えるが、見解は。

答 当該課への調査により、意図のないミスであることが判明しました。深く反省し、憲法を尊重擁護する立場が形骸化しないよう努めます。

16 江口和雄（民主市民クラブ）

日野市職員の教育、安心・安全の視点で問う

問 より質の高いセキュリティー教育に対する市の考え方について問う。

答 知識として身につけて実践出来るよう、民間企業での取り組みを参考に、理解が深まるような仕組みを検討します。

問 危険業務を行う職員の教育について問う。

答 市の安全衛生委員会で策定した事業場ごとの作業マニュアルを順守させます。ヒヤリ・ハット事例の報告を義務づけ、重大事故につながらないよう、問題点を共有し、解消するように努めています。

問 専門性を必要とする職員の育成方法について問う。

答 従来の職員研修のほか、新たな取り組みとして、職員の自発的意欲に基づく自主研修を行っています。

17 池田利恵（自由民主党）

民有地の不適切な管理の実態と対策は？

問 多摩テック跡地の現状について問う。

答 日中は三菱商事の委託した管理会社の職員1人が常駐、夜間は警備会社が巡回警備を行っています。市は、跡地が適正に管理され、周辺に迷惑が及ぶことのないよう指導を行っています。

問 民有地の不適切な管理に対する対策と今後の展望について問う。

答 再三の指導に応じない場合の対策の一つとして、空き地の雑草除去の代執行があり、すでに実施している他市の事例を調査研究していきます。

ふるさと納税の日野市における現状は？

問 積極的な推進策について問う。

答 新選組のような観光資源を生かした特典の導入に向け、準備を進めています。

18 鈴木洋子（自由民主党）

夢をつむぐ・市民の希望を叶える支援を

問 高齢者を支える取り組みを問う。

答 ヘルスケア・ウェルネス戦略に基づく一次予防の視点で、主に運動と栄養管理でさまざまな取り組みを行っています。

問 日本版ネウボラの設置要望の進捗状況について問う。

答 妊娠期から子育て期間に至るまで、関係各課が横断的に協力・連携して切れ目のない支援実現に取り組んでいます。

問 障害のある方のトレーニングや就労支援について問う。

答 多摩平に障害者生活・就労支援センター「にこわーく」を開設しました。障害のある方の自己実現と同時に地域の活性化につなげる理念の下、就労支援に関するノウハウと機能を持った団体によって総合的な支援を行っています。

19 奥野倫子（日本共産党）

「生活困窮者からの違法な取り立て」「生活保護につながない納税相談」やめよ！

問 国税徴収法に違反した実態を反省すべきでは。

答 法令に基づく適切な滞納処分の対応です。

問 徴収のマニュアルを変えるべきでは。

答 現在のマニュアルを即座に改定することは考えていません。

問 徴収金を返還したり、しなかったりする不公平な処分をしていないか。

答 差し押さえ後、徴収前に解除となるケースはありますが、一度徴収したものを返還することはありません。

問 滞納者を生活保護につなぐ前に納税相談をさせるのは生活保護法の考え方に反する。すぐに停止すべきでは。

答 積極的な取り立てはしていませんが、自主的に納付された税は受け取らざるを得ません。

20 峯岸弘行（公明党）

エンディングサポート事業について

問 市の見解を問う。

答 地域包括センターや関係事業者へのヒアリングを行い、導入の可否を検討し、深刻な多死社会に備える努力をしていきます。

豪雨洪水対策について

問 対策の進捗状況と見解を問う。

答 次の大雨の時期までに、適切な避難指示が出来る体制に整備します。今後は地域防災会を発展させ、避難意識や防災力の向上と、流域自治体との連携強化に努めます。

地域の問題ふれあい橋隣接の堤防の手すりの設置について

問 増水時などの児童の転落防止に有効では。

答 堤防に構造物を設置出来ないため、教職員による見守りを実施します。

21 鈴木勝豊（民主市民クラブ）

地域活性化に向けた取り組みについて問う

問 地域懇談会の現状について問う。

答 この懇談会は、地域の基盤づくりが目的です。課題を解決する役割を担う地域の方々の参加を得て、アクションプランを進めています。諸力融合のまちづくりに向けて、課題を確認しながら、地域の活性化に取り組んでいきます。

災害に強いまちづくりに向けて

問 避難所ごとの防災会の立ち上げ状況や、今後のまちづくりについて問う。

答 地域防災会は現在3地域で結成されています。地域防災の核であり、市内全域に発展させたいと考えています。自助、共助、公助の仕組みを着実に作り、防災力の向上に努めます。

22 馬場賢司（公明党）

学校施設の安全性確保について

問 築後50年を経た一小をはじめ、老朽化した校舎の建て替えの検討は。

答 劣化状況調査の結果を基に、全校の施設整備計画策定に取り組みます。

問 体を動かす遊びが大切である。市の見解は。

答 体を動かす楽しさ・心地よさ向上プロジェクトを立ち上げました。この取り組みを推進します。

スポーツや地域活性化のイベント開催を通して

問 幅広い年齢層に人気のローラースポーツの充実に向けた取り組みは。

答 施設整備のための用地確保が難しいですが、取り組みを推進します。

問 日野駅周辺の魅力や活気を引き出すための施策を問う。

答 通称「ひのプロ」が中心的な役割を果たし、これを支援していきます。

23 大塚智和（公明党）

職場環境の向上について

問 ストレスチェックを導入するに当たり、市がこれまで実施しているメンタルヘルス対策にどう反映させるのか。

答 メンタルヘルス対策で有効な取り組みは、早期発見、早期対応です。ストレスチェックとともに、職場での気づきによって、市のメンタル相談に早期につなげることが必要です。また、結果を統計的に見ることで、発生要因などを把握することが出来れば、よりきめ細かい対応が可能になると考えます。

問 ヒューマンエラーの連鎖を断ち切るための方策について問う。

答 組織として取り組むことが必要です。マイナスの情報を共有し、自分事に置き換えて考える組織となることが、ミスを減らす方策の一つと考えます。

皆さんからの請願

今定例会では、３件の請願が新たに提出され、所管の常任委員会で審査が行われました。定例会最終日の本会議の審議結果は、次のとおりです。

付託先	請願の件名	結果
企画総務委員会	日野市議会議場において国旗及び市旗の掲揚を求める請願	採択
	地方自治の尊重を求める意見書提出に関する請願	不採択
民生文教委員会	国民健康保険税の値上げ中止を求める請願	不採択

請願陳情

請願や陳情の出し方は、日野市議会のホームページをご覧になるか、議会事務局へお問い合わせください。

議長賞

日野市農業委員会主催の「第8回かかしコンテスト」で、六小が日野市議会議長賞を受賞しました。

産業まつりで展示された作品（写真）のモデルは、昨年話題になったあの選手ですね。

政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止

政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず、法律で禁止されています。違反すると、処罰されます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。

贈らない！ 求めない！ 受け取らない！